

ミレロ通信

2010年10月24日発行

第8号 オープンスクール記念特別号

教室授業が原点

教室で行った授業を、教室に通えない人のためにほぼそのまま紙に移し替え、授業を紙上で再現しようとしたものが通信添削の教材です。授業はすべて前田式で活動が豊富に盛り込まれています。

まずは4色ボールペンディクテーション。色を変えながら、4回聞き取りをします。

その後、確認とそのシャドーイング。ストップウォッチを使った音読。

単語を覚えるにはクイックレスポンス。アランダムに当てられ、答えられなくても、どんどん先に進んでいきます。次々と指名されるので、うかうかしてはいらせません。文章の意味、単語の意味、問題の正解……

でも、みなさん、「教室は間違えるためにある」のです。正解できない、わからない、だから当てないで〜っと、言いたいところでしょうが、そんな心配はミレでは不要なのです。

教室のいいところは、仲間がいること。自分の分らなかったところは他の受講生が答えてくれます。お互いにそうやって、なるほど！と思うことで身についていくのです。

互いに刺激し合い、励まし合い、情報を交換し合い、ミレの授業は楽しく進んでいきます。I期が終わった時には、自分でも信じられないほど実力がついています。



通信添削の流れ ドキュメント



①

添削封筒がどのように添削され発送されるのかを画像で追ってみることにします。



②

① 8:50 堺郵便局 私書箱



③

② 8:55 車でミレに。(いつもは前田がカバンに入れて運びます。歩きです。今日は特別です)

③ 9:00 ミレの事務所で仕分け作業。この時、表書きにちゃんと「能中 I-3」などを書いていただいていると作業が早いのです。そして受付ノートに記録します。



④



⑤

④ 9:10 メッセージなど読みます。ミレロ通信投稿用紙やお手紙、プリクラ、町のパンフレット……

⑤ 9:30 そして添削待機カゴに……



⑥ 添削が始まりました。定規を当てて見落としがないように
きっちりしっかり見ていきます。



⑦ 机の上の七つ道具です。

⑧ 見本請求の送付、教材作成、メールチェック、会計などの
作業も並行してします。



⑨ 12:00 メール便などは、お昼頃ミレの郵便受けに来ます。

⑩ 添削のポイント、添削参考資料。これは極秘です。



⑪ 15:00 ごろ、真剣そのものです。シーンとしています。
カチャカチャとテープレコーダーを切る音が聞こえるだけです。

⑫ こんなにびっしり。書き込みます。



⑬ 添削内容をアップで撮ってみました。こんな感じです。
詳しく添削されています。

⑭ 次は送付の準備です。オリジナルテープからダビングします。
これがオリジナルテープが入っている箱



⑮ いったん完成した送付セットを添削チェックかごに入れます。



午後4時を過ぎると、どなたか教室受講生がおしゃっていた
ようですが「殺気だっ」てきます。5時前にヤマトさんが
取りに来るからです。



⑯ 4時を過ぎると前田がチェックかごにたまっているその日の
添削に目を通し確認します。時には音声も再チェック。



⑰ 確認が終われば、送付かごへ。ヤマトメール便の
タグシールを貼って5時を待つ添削封筒。
この日は11通仕上がりました。



⑱ そして5時。ヤマトさんが取りに来てくれました。
無事に皆さんの手元に1日も早く届くのをお願いのみです。

皆さんの思いのぎっしり詰まった答案がミレに到着し、そしてミレのスタッフの思いをぎっしり詰め込んで皆さんのもとに
お返しいたします。全国各地からミレの添削指導を受けてよかったという声が続々と寄せられています。